

科目区分	専門教育科目	科目名	保育実習Ⅱ		科目コード	50604	担当者	実習担当教員
対象学生	幼児教育学科2年生	学期区分	前期	単位数	2	卒業要件		選択
						免許・資格要件		保育士資格選択必修
科目の主題						成績評価の方法と割合		
保育実習Ⅰをふまえ、子どもの観察や関わりの視点を明確にし、実践することを通して保育の理解を深める。 保育所における子どもの保育および保護者の支援について総合的に学び、保育士としての自己の課題を明確にする。						受講態度 50% 実習評価 50%		
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標		
						誠実な人柄と人間力(尽心)	高度な知性と創造力(創造)	明確な意志と実践力(実践)
1.	保育の方法や技術を実践しながら習得する					○		○
2.	責任を持ち、見通しをつけながら、仕事をする事ができる							○
3.	自分の課題を見つけ、保育実践に活かすことができる						○	
4.	子育てにおける保護者との連携の重要性を理解する						○	
5.	保育者を目指す者として、今後の学習課題を明確にする						○	○
授業方法								
学外実習(保育所 2年次 9月に10日間)								
準備学修(予習、復習等に必要時間または具体的な学修内容)								
保育実習Ⅰ・保育実習指導Ⅱで実習に対する知識・技術を深める。								
授業計画								
実習期間：2年次 9月 10日間 1) 見学・観察実習／参加実習 保育実習Ⅰをふまえ、担当保育者の指導のもと、乳幼児の1日の生活の様子や保育者の関わり方をとらえる。さらに、保育に参加し、保育の補助をしながら、乳幼児とふれあい、保育実践を経験することにより、実習保育所の保育の流れを理解する。 a. 実習保育所について理解する 実習園の保育方針や特色を理解する。また、1日の生活の流れ、および施設・設備の状況について把握する。 b. 乳幼児とふれあう 乳幼児の様子を観察したりふれあうことにより、乳幼児の年齢や発達状況を把握する。 乳幼児と保育者との関わりの様子を学ぶ。 2) 部分実習／総合実習 担当保育者の指導のもとに、実習生が指導計画を立て、準備→展開→評価にいたる保育活動を主体的に担当し、一般的な技術の習熟をはかるとともに保育者としての意識を高める。								
「教育・保育実習の手引」 「実習記録ハンドブック」						保育実習は、あなたが目指している職業を実際に確認する機会でもあります。保育実習指導Ⅱで学んだ内容をふまえ、実りのある実習になるようがんばってください。		